

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|------------------|-------------------|-------------------------|---|--|
| 家計 動向 関連 | 良く なっている | 百貨店（売場主 任） | 来客数の動き | ・競合店の閉店の影響から、紳士服売場では6月以 降、来客数が対前年比10%ほど増加している。 |
| | | 商店街（代表 者） | 来客数の動き | ・7月に入り、バーゲン来客数が増加し、また、土曜 夜市などのイベントでもかなり来客数が増加してい る。客の歩く速度が結構ゆったりと歩いて滞留時間が 長くなった。 |
| | やや良く なっている | 観光型旅館（経 営者） | お客様の様子 | ・まだ景気が良くなったという実感はないが、人によ ってはそれなりにお金を使い始めている。 |
| | | 旅行代理店（従 業員） | 販売量の動き | ・東京行き航空券、夏休みの家族旅行、地域での団 体旅行など、旅行需要は比較のおう盛であり、SARS の影響がももりに出していた4月頃と比較すれば、やや 良くなっている。 |
| | | 住宅販売会社 （従業員） | お客様の様子 | ・住宅金融公庫の金利が9月から上昇することもあ り、駆け込みの商談が増加した。 |
| | | 一般小売店〔生 花〕（経営者） | 単価の動き | ・中元シーズンに入り、例年に比べ、注文数がかかり 落ち込んでいる。さらに、単価も1割、2割低下して いる状況であり、他業者の方に聞いても、中元商戦が 低価格化しつつあるとの声が多い。 |
| | 変わらない | 一般小売店〔書 籍〕（営業担 当） | 販売量の動き | ・店内売上は、商品や棚の配置換えなど店内のリ ニューアルを行ったこともあり、若干の低下にとど まったが、外商が客の経費削減などの影響を受けて大 きく減少し、トータルも大きく前年割れとなった。 |
| | | | 百貨店（総務担 当） | お客様の様子 |
| | | 百貨店（営業担 当） | それ以外 | ・来客数は前年同月比5%ほど減少したが、客単価は 6%ほど上昇し、売上高は前年並みを確保した。宝飾 品が好調に推移し売上を支えた。サマーギフトは、う どんが歳暮に引き続き続伸したが、長梅雨の影響か ら、ここ数年良かったビールが減少し、全体として変 化はなかった。 |
| | | 百貨店（営業担 当） | 単価の動き | ・中元商戦がピークを迎えたが、客の傾向を見ると、 お届け件数は対前年比わずかに減少したが、1個当 たり単価は、ほぼ前年並みの状況である。 |
| スーパー（営業 担当） | | 販売量の動き | ・来客数は、営業時間の拡大により前年に比べ増加し ているが、客単価は、前年割れの状況である。売上高 は、来客数の増加が客単価の低下を補っている状況で ある。 | |
| コンビニ（エリ ア担当） | | お客様の様子 | ・雨の日が多く、気温もあまり上昇しなかったため ジュース類の売上が、今一つ伸びなかった。 | |
| 乗用車販売店 （管理担当） | | お客様の様子 | ・客に乗り換えを勧めても、年式は古くてもまだ乗 れるという返事が多い。 | |
| 乗用車販売店 （営業担当） | | 来客数の動き | ・競合他社に比べて商品揃えは有利だと思ってい るが、その割には販売台数が伸びない。 | |
| やや悪く なっている | 設計事務所（職 員） | 単価の動き | ・住宅建設が減少していることに加え、1件当たりの 金額も低下している。 | |
| | 一般小売店〔乾 物〕（店員） | 販売量の動き | ・冷夏の影響もあるが、中元の売上が非常に悪い。 | |
| | スーパー（企画 担当） | 単価の動き | ・来客数は昨年を下回っており、客1人当たりの購入 単価も昨年来を30円ほど下回っている。 | |
| | コンビニ（店 長） | 販売量の動き | ・例年7月は、客数も単価も動きが良く、1年の中 でも結構売れる時期だが、今年は、たばこの値上げ、長 梅雨による天候不順、また、地元企業の倒産などの影 響から、全般的に売上が上昇していない。 | |
| | コンビニ（代表 者） | 販売量の動き | ・昨年に比べて天候不順で雨の日が多く、来客数が減 少した。特に麺類、食品関係の売上は下落している。 こうしたことから全体の売上額は対前年比約8%の減 少となっている。 | |
| | 衣料品専門店 （経営者） | お客様の様子 | ・やはり可処分所得の増加がないということからバー ゲンセールに入っても購入態度は非常に慎重であり、 かつ購入には相当長い時間をかけている。 | |

| | | | | |
|------------|-------------------------|--------------------------|--|---|
| | | タクシー運転手 | 来客数の動き | ・タクシーに乗る客が減少し、待機車両がどんどん増えている。夜も、客よりもタクシー台数の方が多い。客が乗車しても、近隣ホテル、駅などで降りてしまうため、まったく売上が伸びない状況が続いている。 |
| | 悪くなっている | 家電量販店（店長） | 販売量の動き | ・涼しい夏の影響でエアコン、冷蔵庫など夏物商品が大きく落ち込んでいる。さらに来客数も減少しており、全体として大変厳しい状況で推移している。 |
| 企業動向 関連 | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | 家具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・建築基準法改正後の在庫調整後の積み増し、マンション物件の前倒し購入などにより売上が増加している。 |
| | 変わらない | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・5月、6月は、SARS関連の除菌商品の受注が多かったが、現在は一段落し落ち着いている。 |
| | | 化学工業（営業担当） | 取引先の様子 | ・メーカーとして中間材料を販売店に供給しているが、海外品の流入、国内需要の低下により、価格競争はますます激化している。その結果、老舗といわれる販売店が自主廃業に追い込まれている。 |
| | | 通信業（営業担当） | それ以外 | ・地元大手建設会社2社が民事再生法の申請をしてから、県内景気に対する不安が広がっている。 |
| | | 公認会計士 | 取引先の様子 | ・取引先の決算状況を見ると、売上が前年に比べ平均で10%程度減少している。消費が十分に回復していない状況がいまだに続いていると判断できる。 |
| やや悪くなっている | 食料品製造業（従業員） 輸送業（支店長） | 受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き | ・3か月前に新商品を発売したが、売上が計画どおりに伸びていない。 ・梅雨明けの遅れによる日照時間不足の影響で、園芸野菜を始め農産物の出荷量が昨年を大きく下回った。 | |
| 悪くなっている | 建設業（経営者） | それ以外 | ・公共工事の減少が止まらず、早期発注も少ない。 | |
| 雇用 関連 | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | - | - | - |
| | 変わらない | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・新規求人数は必要人員のみの募集傾向が強く、申込件数は増加したものの求人数の大幅増加には至らなかった。 |
| | | 民間職業紹介機関（所長） | 周辺企業の様子 | ・中堅企業の採用意欲の低下が見受けられる。 |
| | | 学校〔大学〕 （就職担当） | 採用者数の動き | ・来年度卒業予定者の採用選考状況が、極めて低調に推移している。 |
| | やや悪くなっている | 人材派遣会社（支店長） | 求人数の動き | ・求人数、契約数ともに、昨年並かそれ以下である。また賃金価格も下落が価格が続いている。 |
| | | 求人情報誌製作会社（編集者） | それ以外 | ・新卒のニーズが少し冷え込んでいる影響もあるが、新卒採用に伴う企業のプロモーション等の仕事も少し一段落した感があり、少し悪くなった。 |
| | | 求人情報誌製作会社（従業員） | 求人数の動き | ・賞与等支給後、夏休みを控え、企業全体の求人数が低下している。 |
| 職業安定所（職員） | | 求人数の動き | ・パートを含む新規求人数が、主要産業のすべてで前年同月を下回っている。また、有効求人倍率は、17か月連続で前年比マイナスが続いている。 | |
| | 職業安定所（職員） | 雇用形態の様子 | ・一般の常用求人が減少し、パート求人、派遣請負等、アウトソーシングなどの求人カバーする動きがある。 | |
| 悪くなっている | - | - | - | |